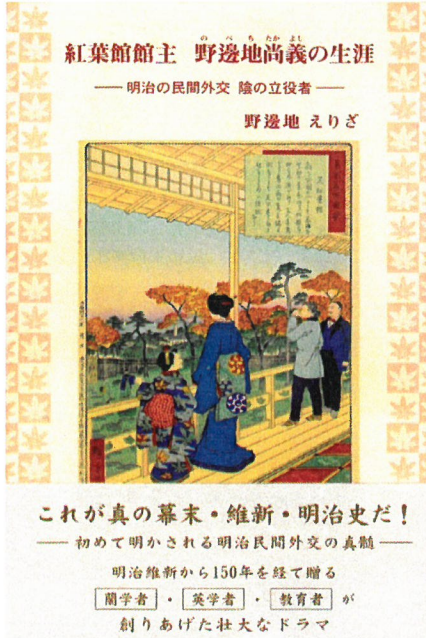




書籍紹介

のべちたかよし 紅葉館館主 野邊地尚義の生涯

—明治の民間外交 陰の立役者—



【著者】野邊地 えりざ

これが真の幕末・維新・明治史だ！
初めて明かされる明治民間外交の真髄

【著者略歴】野邊地 えりざ(1970 文)

1947 年新宿区生まれ。生後 33 日目に四ツ谷・イグナチオ教会にて洗礼を受ける。洗礼名：エリザベット。
幼稚園から高校卒業まで雙葉学園。1970 年慶應義塾大学文学部卒業。1984 年仙川チャイルドファクトリーアートクラスを主宰。
1997～2000 年成城インターナショナル・ウィメンズ・クラブ会長。朝日カルチャーセンター・ルポライター養成講座・エッセイ講座・時代考証を受講。表参道シナリオ・センター卒業。
日蘭・日英・日本スペイン協会会員。
2013 年に務めた、日本スペイン交流 400 年記念講演は、大盛況を呈した。BRB 会員・青木 聡氏(1969 政)夫人。

幕末に、野邊地尚義(のべちたかよし)という男がいた。

盛岡近郊で生まれた。江戸で蘭学者としてオランダ語、外国の政治、社会を学び、後に明治維新を創る人々と交流した。長崎で英語を学び、萩では長州ファイブなど若手の長州藩士に英語教育を施した。

維新後は、教育者として京都府立語学校の創立にあたる。その学校は、現在も名称を変えて存続しており、ノーベル賞受賞の湯川秀樹、朝永振一郎など多数の人材を輩出している。明治 5 年、日本初の公立女学校を創立、その校長を務めた。後の京都府立第一高女である。明治 14 年、東京・芝に国際交流の舞台として紅葉館を創設。政治、外交の場として、日本の列強諸国との不平等条約改正に尽力した。

「明治の民間外交の立役者」として、85 歳の生涯を終えた。

主な登場人物は、福澤諭吉先生、そして、シーボルト、勝海舟、大村益次郎、楠本イネ、久坂玄瑞、杉田成郷、杉田玄端、木戸孝允、伊藤博文、新島八重、子安峻、岩崎弥太郎、小野義真、神田孝平、福地源一郎、加藤弘之、津田仙… 幕末、維新、明治時代に、多数の蘭学者、英学者、教育者が創りあげた壮大なドラマを描いている。

主な末裔として、天才ピアニスト野邊地勝久、加茂さくら、皇太子徳仁親王妃 雅子様などが登場する。

販売価格…1,400 円+税
発行・発売…桜出版

購入のお問合せ ☒ ▶ tomo2012e@nifty.com